



東風

〇月〇日

『明るく伸びる子』
〇考える子 〇助け合う子 〇やりぬく子
〇じょうぶな子
【重点目標】
「なりたい」を支える学校

令和6年 10月31日発行

《令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果について》

令和6年4月18日（木）に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に行われた「全国学力学習状況調査(本体調査)」は、国語・算数の2科目での実施となりました。

今年度の本校の平均正答率を全道・全国と比較すると、国語・算数ともに全道・全国平均よりも低い結果となりました。また、教科の調査の他、児童の生活や学習の様子、自分自身のことについて答える「児童質問紙」についても実施しました。

以下、今年度の岩内東小学校における調査結果の概要とともに、結果の考察および今後の指導の重点などについてお伝えいたします。

なお、4月18日当日に調査を受けた児童は35名となっており、欠席した児童の分は含まない集計結果をもとにした考察となっております。

《国語の結果》

【全道・全国を上回った主な設問】

- 〇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができる
- 〇目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる

【全道・全国を下回った主な設問】

- ▲日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付く
- ▲文の中における主語と述語との関係を捉えることができる
- ▲人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする

【分析と今後の取組】

全体の傾向から、漢字(同音異義語)や主語・述語の関係などの「基礎基本の定着に課題」が見られるということが考えられます。また、題意を読み取る力や、条件を満たしたり、字数制限を守って書いたりする記述問題への対応力、理解力にも昨年に引き続き課題が見られました。

今後は、音読や視写など「日常的に文を読む・書く」活動を継続するとともに読書の大切さも重視し、「友達の考えと比べながら説明する」「文章と資料を関連させながら発表する」など、基礎基本を定着させ、その知識を活用した言語活動の充実を図ります。さらに、条件付きの記述を授業の中で取り組むことで、状況に応じて表現する力を高めていきます。

《算数の結果》

【全道・全国を上回った主な設問】

- 数量の関係を□を用いた式に表すことができる
- 直方体の見取り図について理解し、かくことができる
- 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができる
- 簡単な二次元表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができる

【全道・全国を下回った主な設問】

- ▲示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できる
- ▲計算に関して成り立つ性質を活用して計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる
- ▲速さの意味について理解している
- ▲球の直径の長さ立方体の一辺の長さの関係をつえ、立方体の体積の求め方を式に表す

【分析と今後の取組】

算数は国語よりも全道・全国との差がない結果となり、設問によっては正答率が上回ったものも多く見られました。ただし、国語同様、「基礎基本の定着に課題」が見られます。

速さや計算の性質などの確実な習得を目指し、授業の中に定期的なふり返りを位置づけます。また、問題で何を問われているのかを理解し、正解に至る道筋を自分の言葉や式や図を使って表していく力をつけていくために、課題解決の部分を重視し、自分の考えを文章に表したり、相手に説明したりすることなどを低学年のうちから取り組んでいきます。

《児童質問紙から分かる傾向》

- 生活習慣の質問で、全国平均よりも低い結果となっている項目が多く見られました。特に普段のテレビゲームやSNS、動画視聴に費やす時間がかなり高くなっているのが特徴です(テレビゲームは全国+21.4P)。学校では、望ましい生活について指導を続けていきますので、ご家庭でもルール作り等お子さんとの話し合いをお願いします。
- 友達関係が良好であることや、自尊心、自己肯定感といった部分では、おおむね全国平均並みとなりました。自分の事をしっかりと認めている児童が多いことが分かります。反面、将来の夢を持つこと、先生や大人に不安を相談できることの部分では低い結果となりました。キャリア教育の充実も含め、「やりたい」「なりたい」の実現に向けて声かけや励ましなど子どもたちを支援し、一人一人に寄り添っていきます。
- 家庭での1時間未満の勉強時間が全国よりもかなり少ないことは課題です。学校評価でも家庭学習の部分は課題として表れているため、今後も、家庭学習の内容や取り組み方の状況を把握し、個に応じた指導を継続していきます。
- ICT関連や学習に関わる質問では、ほとんどが全国を上回る結果となりました。今後も学校全体の取組として、ICT活用や課題解決的な学習、主体的に取り組める学習を推し進め、今後の授業改善に生かしていきます。
- 各教科への興味関心も非常に高い結果となり、学習が将来大切である、と考える児童がほとんどでした。これからも、家庭と学校とが「生活リズムの安定」と「学校生活の充実」の両輪で子どもたちを支援、伸ばしていくことが、本校にとっての大切な方向性であると思われれます。今後とも、子どもたちにとって望ましい生活環境作りにご協力をお願いいたします。